

## 10 健康づくり

## ◆ 健康診査

豊田市国民健康保険加入者(40歳以上満74歳以下)を対象として、生活習慣病の早期発見により生活習慣の改善を図るためメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施した。また、後期高齢者医療制度被保険者に対しては、後期高齢者医療健康診査を実施した。

### (1) 特定健康診査

対象	40歳以上満74歳以下の豊田市国民健康保険に加入している者	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査、貧血検査等 ※一定の基準に達し、医師が必要と認めた場合は、眼底検査を実施	
年度	5	6
受診者数(人)	18,706	17,862
受診率(%)	34.3	34.4
動機付け支援該当者数(人)	1,465	1,449
積極的支援該当者数(人)	309	322

注：国庫負担金実績報告時数値に基づく

### (2) 特定健康診査受診勧奨

特定健康診査の受診率向上を図るために、はがきによる受診勧奨を実施した。

対象者	① 過去の受診状況、検査値、問診項目等を分析し、受診が期待できる人 ② ①の通知者のうち、通知発送後も未受診の人 ③ 令和6年4月～7月に国保に加入した健診未受診者 ④ ①、②、③を除いた50歳代の健診未受診者																							
内容	受診のパターンに分類したはがきを作成して送付																							
発送時期	① 6月末 ② 11月中旬 ③ 7月～10月 ④ 10月下旬																							
実施状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>実発送者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過去3年間に連続受診でない人</td> <td>9,524</td> <td>53.8%</td> </tr> <tr> <td>過去3年間に受診歴がない人</td> <td>4,936</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,460</td> <td>35.9%</td> </tr> <tr> <td>② 再勧奨者</td> <td>10,352</td> <td>21.5%</td> </tr> <tr> <td>③ 新規国保加入者</td> <td>1,210</td> <td>20.5%</td> </tr> <tr> <td>⑤ 50歳代受診勧奨者</td> <td>5,190</td> <td>7.8%</td> </tr> </tbody> </table>			対象者	実発送者数	受診率	過去3年間に連続受診でない人	9,524	53.8%	過去3年間に受診歴がない人	4,936	4.2%	計	14,460	35.9%	② 再勧奨者	10,352	21.5%	③ 新規国保加入者	1,210	20.5%	⑤ 50歳代受診勧奨者	5,190	7.8%
対象者	実発送者数	受診率																						
過去3年間に連続受診でない人	9,524	53.8%																						
過去3年間に受診歴がない人	4,936	4.2%																						
計	14,460	35.9%																						
② 再勧奨者	10,352	21.5%																						
③ 新規国保加入者	1,210	20.5%																						
⑤ 50歳代受診勧奨者	5,190	7.8%																						

### (3) 後期高齢者医療健康診査

対象	後期高齢者医療制度被保険者の市民(概ね75歳以上)	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査、貧血検査等 一定の基準に達し、かつ医師が必要と認めた場合は、眼底検査を実施	
年度	5	6
受診者数(人)	17,746	18,919
受診率(%)	33.1	33.3

#### (4) いきいき健診

対象	生活保護受給者及び中国残留邦人支援給付制度該当者（40歳以上）		
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査及び心電図		
年度	5	6	
受診者数(人)	59	65	
受診率(%)	3.4	3.8	

#### ◆ がん検診等

健康増進法に基づき、がんを早期発見し、早期治療に結びつけるため、医療機関にて各がん検診を実施した。要精密検査者の受診状況を把握し、未受診者には未受診調査を行い、受診勧奨を行った。

注：受診者数、要精密検査者数、要精密検査受診者数は、各表の時点で市が把握した情報で作成

がん検診受診者数と受診率の推移

令和7年4月12日時点

検診名	受診者数			受診率(%) 1)			国の統計 2)	
	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	受診数	受診率
胃がん	15,534	14,903	14,678	9.0	8.8	8.6	5,595	8.5
大腸がん	24,506	24,102	24,541	9.2	9.0	9.1	9,475	5.8
子宮頸がん	7,592	7,675	7,852	9.5	9.3	9.5	5,853	9.7
乳がん	8,976	8,901	9,172	12.7	12.4	12.6	3,517	8.9
肺がん	19,857	20,198	20,924	8.2	8.4	8.6	6,173	3.8
前立腺がん	5,015	4,663	4,559	9.2	8.4	8.0	—	—

注 1)各年度の4月1日現在人口を対象者とする

胃がん・子宮頸がん・乳がんは（前年受診者数+当年受診者数-連続受診者数）／人口

2)地域保健・健康増進事業報告に計上するもの。40～69歳（胃がんは50～69歳、子宮頸がんは20～69歳、乳がんはマンモグラフィ検査のみ）を対象としている

令和5年度がん検診等のまとめ

令和7年2月28日時点

検診名	受診者数	要精検者数	要精検者率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がんの診断	がん発見率(%)	陽性反応の中度(%)	精検結果未把握数
胃がん	14,903	1,009	6.77	889	88.1	30	0.20	2.97	120
大腸がん	24,102	1,751	7.26	1,367	78.07	69	0.29	3.94	384
子宮頸がん	7,675	189	2.46	154	81.48	1	0.01	0.53	35
乳がん	8,901	278	3.12	269	96.8	36	0.40	12.95	9
肺がん	20,198	353	1.75	308	87.25	12	0.06	3.4	45
前立腺がん	4,663	246	5.28	153	62.2	27	0.58	10.98	93
肝炎	2,600	—	—	—	—	—	—	—	—

注：肺がん検診要精検は、胸部X線判定E、又は喀痰検査判定D・Eに該当するもの

(1) 胃がん検診

対象	35歳以上の市民			
検査内容	問診、胃部X線直接撮影または胃内視鏡検査、二重読影			
年度	5		6	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
	男	4,795	353	4,638
胃部X線	女	5,423	210	5,161
	男	2,228	249	2,272
内視鏡	女	2,457	196	2,607
	合計	14,903	1,008	14,678
				969

注：総合がん検診受診者数含む

(2) 大腸がん検診

対象	35歳以上の市民			
検査内容	問診、免疫便潜血検査(2日法)			
年度	5		6	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者
男	10,645	953	10,789	986
女	13,457	798	13,752	852
合計	24,102	1,751	24,541	1,838

注：総合がん検診受診者数含む

(3) 子宮頸がん検診

対象	20歳以上で偶数年齢、21歳の女性			
検査方法	問診、視診、内診、細胞診			
年度	5		6	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
人数	7,675	189	7,852	167

注：総合がん検診、がん検診推進事業受診者数含む

(4) 乳がん検診

対象	30歳以上で偶数年齢、41歳の女性			
検査方法	問診、超音波検査またはマンモグラフィ検査(二重読影)			
年度	5		6	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
超音波検査	3,830	74	3,843	66
マンモグラフィ検査	5,071	204	5,329	212
合計	8,901	278	9,172	278

注：総合がん検診、がん検診推進事業受診者数含む

(5) 肺がん検診

対象	40歳以上の市民			
検査方法	問診、胸部X線直接撮影、二重読影、喀痰細胞診			
年度	5		6	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
男	9,745	375	10,059	325
女	10,453	353	10,865	319
合計	20,198	728	20,924	644

注：総合がん検診受診者数含む

(6) 前立腺がん検診

対象	50歳～70歳の市民(男性)			
検査方法	問診、P S A検査(血液検査)			
年度	5		6	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
人数	4,663	246	4,559	246

注：総合がん検診受診者数含む

(7) 胸部X線検査

対象	40歳以上の市民			
検査内容	胸部X線直接撮影(正面)			
年度	5		6	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
男	7,736	243	7,464	247
女	11,955	327	11,690	299
合計	19,691	570	19,154	546

(8) 肝炎検診

対象	40歳以上5歳刻みで過去に豊田市の肝炎検診を受けたことがない市民			
検査内容	問診、B型肝炎ウイルス検査(H B s抗原検査)、C型肝炎ウイルス検査(H C V抗体検査)、H C V核酸増幅検査) H C V核酸増幅検査は、H C V抗体検査で中力価・低力価と判定された者のみ実施			

B型肝炎検診受診者

年度	5		6		
区分	受診者数	陽性	陰性	受診者数	陽性
男	1,201	8	1,193	1,078	5
女	1,233	6	1,227	1,295	5
合計	2,434	14	2,420	2,373	10
					2,363

### C型肝炎検診受診者

		受診者数	感染している可能性が高い		感染している可能性が低い	
			判定①	判定②	判定③	判定④
令和5年度	男	1,201	3	1	4	1,193
	女	1,233	1	1	5	1,226
	合計	2,434	4	2	9	2,419
令和6年度	男	1,078	1	2	5	1,070
	女	1,295	0	2	7	1,286
	合計	2,373	1	4	12	2,356

注：C型肝炎判定区分の説明

判定①／HCV抗体検査「高力価」

判定②／HCV抗体検査「中・低力価」、HCV核酸増幅検査「陽性」

判定③／HCV抗体検査「中・低力価」、HCV核酸増幅検査「陰性」

判定④／HCV抗体検査「陰性」

### (9) 総合がん検診(再掲)

40歳、50歳、60歳の節目において、各がん検診をまとめて受診できるよう総合がん検診を実施した。

対象	40歳、50歳、60歳の市民			
検診内容	胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診(女性のみ)、乳がん検診(女性のみ)、骨塩定量検査(女性のみ)、前立腺がん検診(50歳、60歳の男性のみ)、肝炎検診(過去に受診歴のない希望者)、脳ドック(50歳の希望者)			
	40歳検診	50歳検診	60歳検診	合計
男	27	83	69	179
女	130	211	189	530
合計	157	294	258	709

### (10) 脳ドック(総合がん検診と同時実施)

総合がん検診において、50歳の希望者に脳ドックを実施した。

対象	50歳の市民		
検査方法	問診、MRI検査、MRA検査		
区分	総合がん検診受診者数	脳ドック受診者数	受診率(%)
50歳	男	83	46
	女	211	108
合計	294	154	52.4

### (11) がん検診推進事業(再掲)

特定の年齢を対象に、子宮頸がん検診、乳がん検診が無料となるクーポン券と検診手帳を配布し、がん検診の受診促進を実施した。

対象	子宮頸がん検診	21歳の女性
象	乳がん検診	41歳の女性
期間	6月1日～3月19日	
検査場所	市内の協力医療機関	
区分	受診者数	要精検者
子宮頸がん検診	136	11
乳がん検診	380	31

## ◆ 女性の健康づくり

健診を受診する機会のない女性を対象に、検診と必要に応じた保健指導を行い、健康管理に関する正しい知識の普及と健康づくりの推進を図った。

### (1) レディース検診

対象者	当該年度中に 19~39 歳になる女性		
日程	毎月 2 回(全 24 回)		
検査内容	身長、体重、問診、血圧測定、尿検査、骨密度検査(二重DEXA法)、血液検査(総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、貧血)		
検査場所	豊田地域医療センター		
定員	40 名／回		
年度	4	5	6
受診者数	134	143	149

### (2) 骨粗しょう症検診

対象者	当該年度中に 40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳になる女性		
日程	毎月 2 回(全 24 回)		
検査内容	問診、骨密度検査(二重DEXA法)		
検査場所	豊田地域医療センター		
定員	20 名／回		
年度	4	5	6
受診者数	217	210	249
うち負担金免除受診者数	20	17	31

## ◆ 特定保健指導

### (1) あなたのための健康教室

豊田市特定健康診査を受診した者に対して、指導レベル別に特定保健指導を実施した。

内容		メタボリックシンドローム・栄養・運動・喫煙に関すること				
場所		市役所、交流館、市内協力医療機関				
年度	区分	対象者数 (健診受診時に 国保加入者)	初回実施者数 (初回実施時に 国保加入者)	実施率(%) (初回実施者/ 対象者)	終了者数	終了率(%)
5	積極的支援	308	28	9.1	23	82.1 7.5
	動機付け支援	1,428	269	18.8	251	93.3 17.6
	合計	1,736	297	17.1	274	92.3 15.8
6	積極的支援	317	31	9.8		
	動機付け支援	1,408	347	24.6		
	合計	1,725	378	21.9		

### (2) 健康体験会(特定保健指導受講勧奨事業)

特定保健指導対象者に、特定保健指導利用率向上を目的として、体力測定の結果に応じた運動の提案やバランス食の体験等により、生活習慣の改善の取組を継続的に実施できるよう働きかけた。

対象者	特定保健指導初回指導に該当する者
講 師	健康運動指導士、保健師、管理栄養士等
場 所	あいち健康プラザ
内 容	体力測定、バランスのとれた食事の体験や講話等
教室開催数	3 回
参加実人数	23 名

### (3) 重症化予防事業

#### ア. 糖尿病重症化予防事業

特定健康診査受診者のうち、糖尿病検査値等が高めで重症化するリスクが高くなることが予測される医療機関未受診者及び受診中断者に対して受診勧奨を実施した。

(令和7年3月末時点)

対象	令和5年度豊田市国民健康保険特定健康診査受診者のうち、次に掲げる条件を満たす人 (1) 特定健康診査の結果がア～ウのいずれかに該当する人 ア HbA1c 7.0%以上 イ 「HbA1c 6.5%以上 7%未満」かつ「eGFR45ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満または尿蛋白(+)以上」 ウ 「HbA1c 6.5%未満かつ空腹時血糖 126mg/dl 以上（随時血糖 200 mg /dl 以上）」かつ「eGFR45ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満または尿蛋白(+)以上」 (2) 特定健康診査を受診した年度内に糖尿病の治療がない人																						
内容	受診状況調査、特定健康診査結果の説明、医療機関への受診勧奨、生活習慣改善に向けた保健指導、糖尿病に関する啓発資料配布																						
実施状況	1 特定保健指導対象者（手紙による受診勧奨） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>対象者数</th><th>返信数</th><th>受診確認数</th><th>特定保健指導申込者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>35</td><td>19</td><td>15</td><td>8</td></tr> </tbody> </table> 2 特定保健指導非対象者 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>訪問</th><th>面接</th><th>電話</th><th>手紙</th><th>計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>一</td><td>一</td><td>9</td><td>23</td><td>32</td></tr> </tbody> </table> 注：令和5年度健診受診者から対象者を抽出		対象者数	返信数	受診確認数	特定保健指導申込者数	人数	35	19	15	8		訪問	面接	電話	手紙	計	人数	一	一	9	23	32
	対象者数	返信数	受診確認数	特定保健指導申込者数																			
人数	35	19	15	8																			
	訪問	面接	電話	手紙	計																		
人数	一	一	9	23	32																		

#### イ. 高血圧重症化予防事業

特定健康診査受診者のうち、血圧値が受診勧奨判定値を超えており、重症化するリスクの高い医療機関未受診者に対して受診勧奨を実施した。

(令和7年3月末時点)

対象	令和5年度の特定健康診査結果において特定保健指導の対象者で以下の値に該当する人 (1) 収縮期血圧 140mmHg 以上 160mmHg 未満又は拡張期血圧 90mmHg 以上 100 mm Hg 未満 (2) 収縮期血圧 160mmHg 以上又は拡張期血圧 100mmHg 以上										
内容	医療機関への受診勧奨、血圧に関する啓発資料配布、受診状況調査										
実施状況	手紙による受診勧奨を実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>対象者数</th><th>返信数</th><th>受診確認数</th><th>特定保健指導申込数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td><td>589</td><td>336</td><td>174</td><td>126</td></tr> </tbody> </table> 注：令和5年度健診受診者から対象者を抽出		対象者数	返信数	受診確認数	特定保健指導申込数	人数	589	336	174	126
	対象者数	返信数	受診確認数	特定保健指導申込数							
人数	589	336	174	126							

#### (4) 「生活習慣病予防教室」

特定健康診査の結果において特定保健指導の対象とならないが、血液検査等リスク項目の該当者に対し、講義や実技を通じ自己の健康課題に対して自主的に取り組めるように支援し、生活習慣病を予防することを目指す。

対象	前年度の特定健康診査結果において、特定保健指導レベルが「情報提供」に該当し、年齢が70歳以下で、血圧、脂質、血糖、尿たんぱく等の値が正常範囲を超えている人。(年齢については、令和7年4月1日時点) ただし、特定健康診査の問診で、「血圧」「脂質」「血糖」の内服をしている人または、「脳卒中」「心臓病」「腎臓病」の治療を受けている人は除く。
教室開催形態	2コース開催(3か月コース、1日コース)
内容	(1)教室前後評価 生活習慣病に関する問診、血圧測定、尿定性検査、身体計測(身長、体重)血液検査(中性脂肪、HDL、LDL、血糖値、HbA1c) (2)体力測定 全身持久力測定、筋力測定、柔軟性、敏捷性、平衡性 等 (3)講義及び実技 医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士、歯科衛生士による講義及び実技

#### ◆ 栄養改善

健康増進法等に基づき各種栄養改善事業を実施した。

また、「健康づくり豊田21計画(第四次)」の栄養・食生活分野の取組を推進するため、市民の健康の維持増進に努めた。

#### (1) 栄養相談

市民の栄養、食生活に関する相談に応じた。

栄養相談件数(令和6年度)：来所…0件、電話…11件

相談内容別内訳(延べ件数)

重点健康相談					総合健康相談
脂質異常症	糖尿病	歯周疾患	骨粗しょう症	その他病態	
1	2	—	—	4	4

#### (2) 地区組織の育成、指導(栄養士連絡会)

市内在勤、在住の栄養士で構成する栄養士連絡会の会員を対象に研修会等を開催し、栄養士相互の連絡調整や資質向上を図った。より有意義な会として位置づける為、会員のニーズにあった研修会を実施し、参加者の増加に努めた。

	回数	参加者数	内容
研修会	4	151	講演会4回
役員会	5	45	企画、協議、事業計画、連絡調整

### (3) 特定給食施設指導

健康増進法に基づき、特定給食施設事業実施状況報告書の提出を求め、給食内容や栄養士の配置状況などを把握し指導等を実施した。

#### ア. 状況調査(総計:218 施設)

	管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士・ 栄養士どちら もいない施設
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数	
学校	11	17	4	25	10	1	1	1
病院	5	13	12	65	30	—	—	—
介護老人保健施設	5	11	3	11	3	—	—	—
介護医療院	—	—	—	—	—	—	—	1
老人保健施設	16	25	5	7	7	1	1	—
児童福祉施設	4	11	1	1	1	—	—	—
社会福祉施設	4	5	—	—	—	2	3	2
事業所	57	60	11	13	12	14	14	34
寄宿舎	8	8	1	1	1	5	5	8
矯正施設	—	—	—	—	—	—	—	1
一般給食センター	—	—	1	1	3	—	—	—
計	110	150	38	124	67	23	24	47

#### イ. 指導施設数

10 施設 (病院…1、福祉…2、事業所…7、学校…1、寄宿舎…1)

### (4) 食品表示法(保健事項)、健康増進法第65条第1項等指導・相談

被疑食品に関する指導、相談、収去

	指導	相談	収去
栄養表示基準	1	34	—
誇大広告	—	—	—

### (5) 国民健康・栄養調査

健康増進法に基づき、身体状況調査、栄養摂取状況調査、生活習慣調査を実施。

令和6年度は該当地区なし。

### ◆ 歯科保健(8020推進事業)

健康増進法等に基づき各種歯科保健事業(教育・相談・健診)を実施した。

また、「健康づくり豊田21計画(第四次)」の歯の健康分野の取組及び「豊田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の施行に伴い作成された「8020(ハチマルニイマル)市民運動」を推進するため、歯科保健関係団体(歯科医師会・歯科衛生士会・豊田市健康づくり協議会等)と連携し歯科疾患の予防や歯・口腔の健康に関する正しい知識の普及啓発に努めた。

## (1) 歯科健康診査

### ア. 成人歯科健診

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳を機に歯の健康状態のチェックを受け、歯の健康についての知識を高めてもらうため、医療機関個別方式で健診が受けられる受診券を送付した。

個人負担金	無料		
対象者	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳		
年度	4	5	6
20歳	145	141	160
25歳	225	229	250
30歳	254	297	271
35歳	151	181	158
40歳	177	207	195
45歳	128	129	142
50歳	210	203	191
55歳	171	172	148
60歳	174	178	153
65歳	195	243	207
70歳	257	250	239
75歳	242	255	222
合計	2,329	2,485	2,336

### イ. 妊産婦歯科健診

生理的変化に伴い歯周疾患が急増する妊産婦に対して、口腔疾患の予防と早期発見に努め、胎児を健全に発育させるために、医療機関個別方式で健診が受けられる受診票を母子健康手帳交付時に配布した。

個人負担金	無料		
対象者	妊婦、産婦(産後1年未満)		
年度	4	5	6
妊婦	1,206	1,114	1,135
産婦	721	663	585
合計	1,927	1,777	1,720

#### ウ. 幼児歯科健診

う歯の保有率が増加する時期の幼児に対して、早期からかかりつけ歯科医を持ち、むし歯やその他の歯科疾患予防、適切な治療につなげることを目的に、口腔内診査、歯科保健指導、フッ化物歯面塗布の健診を実施した。対象となる受診券については、1歳6か月児健診で受診券①、3歳児健診で受診券②③を令和5年度まで配布し、令和6年度からは配布対象を2歳児のみとし、個別に送付した。

個人負担金	無料		
対象者	1歳6か月～2歳児…受診券①、3歳児…受診券②、4歳児…受診券③ 2歳児（2歳の誕生日の翌月初旬に送付）		
年度	4	5	6
2歳児	—	—	564
受診券①	932	733	170
受診券②	467	393	104
受診券③	364	322	250
合計	1,763	1,448	1,088

#### (2) 豊田市障がい者歯科事業

障がい者の歯科疾患予防及び疾患の早期発見を図ることを目的として、施設利用者の歯科健康診査及び施設職員に対して障がい者の口腔ケアに関する予防指導を実施した。令和6年度からは、事業内容を変更し、通所施設利用者の口腔内診査、歯科保健指導、フッ化物歯面塗布を実施した。

(年度末現在)

年度等	4		5		6	
	施設数	実施者(人)	施設数	実施者(人)	施設数	実施者(人)
歯科健康診査 (通所施設)	13	247	13	293	13	288
訪問予防指導 (入・通所施設)	4	57	4	40	—	—

#### (3) 歯の健康教育

##### ア. よい子の歯みがき運動啓発事業

6歳臼歯の保護育成を目的とし、市内のこども園（私立幼稚園含む）の4歳児及び5歳児を対象に普及啓発活動を展開した。また、各園で啓発が実施できるよう視覚教材等の貸し出しを行った。

###### ・啓発配布資料

4歳児・5歳児「歯みがきカレンダー（両面）」

5歳児保護者「家庭でできるむし歯予防」

###### ・視覚教材等貸出

DVD（園児歯科健康教育動画「自分で守ろう！自分の歯！」） 貸出件数：4件

紙芝居、エプロンシアター 貸出件数：30件

## イ. 親子むし歯予防教室

子育て支援施設と共に地域からの依頼により、むし歯の増加する時期に親子で歯について関心を持ち、生活習慣とのかかわりを認識して歯みがきの習慣化の必要性についての教室を開催した。

対象	未就園児					
内容	講話(むし歯予防、フッ素、噛むことについて)、相談、質疑応答					
年度	4		5		6	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
子育て支援施設	38	636	39	739	38	712
自主グループ(地域、団体等)	1	15	3	59	2	12
合計	39	651	42	798	40	724

## ウ. 口腔機能向上支援事業(お口の健康教室)

高齢者が口腔機能を維持・向上し、いつまでも自立した豊かな生活を送ることができるよう、自治区、自主活動グループ、地域ふれあいサロン等を対象にオーラルフレイルに関する講話と比較的簡単にできる口腔機能に関する訓練や体操を指導する教室を開催した。

対象	高齢者					
内容	歯科衛生士による口腔機能向上に関する講話と実技指導（顔面体操、唾液腺マッサージ、飲み込みテストなど）					
年度	4		5		6	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
合計	25	260	13	197	42	698

## エ. その他健康教育

学校、自主サークル等地域で活動している人に対して、8020(ハチマルニイマル)を推進していくために歯や口の健康に関する講話及び実技指導を実施した。

年度	4		5		6	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
園、学校(小、中、高校等)	1	62	—	—	—	—
自主サークル(地域、団体等)	2	24	5	61	5	195
合計	3	86	5	61	5	195

## オ. いい歯の日キャンペーン

「自分で守ろう！自分の歯！」をスローガンに掲げ11月8日の「いい歯の日」にあわせて市内の事業所等へ歯科健診受診勧奨ポスターの設置や以下のイベントでブースを出展し、歯みがきの大切さと8020(ハチマルニイマル)に関する正しい知識の普及啓発を実施した。

開催日	令和6年11月10日(日)
会場	中京大学 豊田キャンパス
来場者数	579人
内容	「中京大学子どもスポーツフェスタ」にてブース出展 ・小学生以下を対象に歯みがき体験 ・歯科、お口の健康づくりの関するクイズ

## ◆ 食育推進事業

健康づくり豊田21計画（第四次）に基づいて推進事業を展開した。

### (1) 食育健康教育

#### ア. 親子食育講座

子どもたちが自分で自分の健康を守り、健全で豊かな食生活をおくる能力を身に付けるよう、また食べ物に対する意識を高め、よい生活習慣を身に付けるために、幼児期から小学生とその保護者を対象に講話や調理実習を実施した。

年度	5			6			
	コース	回数	人数		回数	人数	
			子ども	大人		子ども	大人
初級		—	—	—	—	—	—
中級		—	—	—	—	—	—
行事食		—	—	—	—	—	—
お話し		—	—	—	2	0	67
子育て支援センター		20	135	134	17	148	147
その他		2	0	27	2	0	21
合計		22	135	161	21	148	235

#### イ. 栄養教育(出前講座)

自主サークル等地域で活動している人に対し、栄養、食生活に関する講話、相談を実施した。

年度	2	3	4	5	6
件数	—	2	4	7	9
人数	—	32	94	120	262

注：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

### (2) 食育月間・食育の日普及啓発

食育の大切さを市民にPRするため、食育月間(6月)の食育の日(毎月19日)「おうちでごはんの日」を中心に啓発等を実施した。

項目	期間	内容
1 校内放送	6月19日	小中学校で「たべまるのうた」放送
2 食堂用卓上メモ配布	6月3日～6月28日	特定給食施設において設置
3 バス車内広告掲載	6月3日～6月28日	おいでんバス全路線にてポスター車内掲載
4 デジタルサイネージ	6月10日～6月28日	市内3か所、府内1所で実施
5 イベント開催	6月19日	東庁舎ロビーにて野菜摂取量測定会
6 市役所PCポップアップ	6月12日～6月19日	

### (3) 「野菜の日」啓発

8月31日の「野菜の日」に合わせ、豊田市食品衛生協会及び豊田市農産物ブランド化推進協議会との共催により「野菜を食べよう！地産地食デジタルスタンプラリー」を開催した。

参加店舗：68店舗 応募件数：335件

#### (4) 食育人材バンク

食育に関する知識や技術、経験を持つ人材を登録し、地域等からの依頼に応じて食育活動を実施した。平成30年6月に「食育応援し隊」と「人材バンク」を統合した。

食育人材バンクの募集と登録件数（令和6年度末時点）

食育人材バンク登録件数	19件
食育人材バンク活用状況	活動件数…0件、参加者数…0名

#### (5) たべまるを活用した食育事業

母子保健推進員の会がこども園、幼稚園を訪問し食育キャラクターたべまるを活用し、園児に好ましい食習慣や食の大切さを伝えた。

実施園数…26園

#### (6) 高校生への出前食育講座

市内高校生を対象に、朝食の大切さやバランスの良い食事を理解し、自分の食生活を振り返る機会として、出前講座を実施した。

実施校数 1	全校または指定学年への講話	一
	指定学年への講話・調理実習	2校
	文化祭への参加（健康づくりコーナー）	一

#### (7) 若者向け食育啓発事業

将来親になる若者が食の大切さを学び、望ましい食習慣を身に付けることや、調理を通して食に対する親しみを持つことを目的に講座を開催した。

市内高校オンライン食育授業…1回

### ◆ 健康教育・健康相談

市民が生涯を通じて健康で暮らすことができるよう生活習慣の改善等健康に関する正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自ら守る」という意識を高めるために各種の教育・相談を行った。

#### (1) 出前講座

自治区、自主サークル等地域で活動している人や、学校に対して、生活習慣病予防・健康づくりに関する講話を行った。

令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座は一部中止し、リーフレットの配布による啓発を行った。

《学校》実施者／保健師

テーマ	年度	2	3	4	5	6
生活リズムの大切さ	開催数	一	一	一	5	11
	参加人数	—	—	—	1,284	2,245

## 《自治区等》

実施者／保健師、健康づくりリーダー、ウォーキング指導員、インストラクター

内容（講座名）	年度	2	3	4	5	6
運動 「あなたのカラダ年齢は？」	開催数	—	—	—	—	1
	～39歳	—	—	—	—	10
	40～64歳	—	—	—	—	45
	65歳～	—	—	—	—	0
	計	—	—	—	—	55
運動、認知症予防 「めざせ！ナイスシニア」	開催数	3	6	8	15	11
	～39歳	—	—	—	0	5
	40～64歳	59	55	—	8	19
	65歳～	—	85	216	302	211
	計	59	140	216	310	235
各種生活習慣病の予防、健康づくり 「知ろう！健康生活」	開催数	10	7	—	21	28
	～39歳	—	—	—	3	97
	40～64歳	180	126	—	49	188
	65歳～	—	23	—	528	522
	計	180	149	—	580	807
その他	開催数	4	1	9	14	16
	～39歳	—	—	126	87	135
	40～64歳	65	—	67	64	58
	65歳～	—	23	137	349	238
	計	65	23	330	500	431
計	開催数	17	14	17	50	56
	～39歳	—	—	126	90	247
	40～64歳	304	181	67	121	310
	65歳～	—	131	353	1,179	971
	合計	304	312	546	1,390	1,528

## (2) 健康相談

市民が健康について気軽に相談できるように、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が来所又は電話による健康相談窓口を開設している。また、交流館や学校などが開催するイベント等に出向き健康相談を実施した。

令和2年度から4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等における相談については一部中止とした。

内 容／体組成チェック・血圧測定・血管年齢測定などの実施、生活習慣病予防、健康不安等に対する助言、保健指導

年度	2		3		4		5		6	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
来所・電話相談	75	75	69	69	62	62	57	57	326	326
イベント等における相談	—	—	1	28	2	31	48	2,007	109	3,708

## ◆ 小、中学生健康教育資料配布

生活リズム(睡眠)・喫煙防止・飲酒防止について、パンフレットを作成し、小中学校へ配布した。

内容	対象	
生活リズム(睡眠) 「好調な小学校生活をスタートさせるために」	令和6年度小学1年生保護者	
生活リズム(睡眠) 「ねる子は育つって本当？」	小学生用	小学3年生
	中学生用	中学1年生
喫煙防止 「たばこってなあに？」	小学生用	小学6年生
	中学生用	中学2年生
飲酒防止 「アルコールってなあに？」	小学生用	小学6年生
	中学生用	中学3年生
飲酒防止 「子どもをアルコールから守りましょう」	小学6年生保護者	
	中学3年生保護者	

## ◆ ウオーキング地区支援事業

まちぐるみで行うウォーキングの促進を図るために、ウォーキングイベントで使用するグッズの貸し出し及び既存のウォーキングコースの啓発を行った。

主体分類	実施件数
自治区	6
コミュニティ会議	5
ヘルサポ	-
高齢者クラブ	1
合計	12

## ◆ 豊田市健康づくり応援物品貸出

市民の健康づくりを応援するために、講座や健康づくりイベント等で役立つ、握力計や血管年齢測定器などの健康チェック物品や食育、歯科、たばこ、こころの健康に関するパネルやフードモデルなどの健康づくり学習教材の貸出しを行った。

主体分類	貸出件数
企業	22
地域	39
ヘルサポ	112
合計	173

## ◆ とよた健康マイレージ事業

愛知県との協働事業で、食事や運動などの健康づくり目標を、周りの人（サポーター）に応援してもらいながら、90日間取り組み、定着することを目的に実施した。

取組者数：2,375人

## ◆ 健康づくり推進事業補助金

地区コミュニティ会議(健康づくり部会等)が実施する健康づくり推進事業に補助金を交付することで、コミュニティ活動の活性化と健康づくりに取り組む地域住民の増加を図ることを目的とする。

年度	地区数	地区名
2	2	浄水、前林
3	4	逢妻、浄水、松平、前林
4	9	松平、逢妻、美里、浄水、旭、前林、若園、上郷、稻武
5	8	松平、前林、浄水、旭、逢妻、稻武、若園、上郷
6	8	逢妻、浄水、若園、松平、前林、旭、朝日丘、稻武

## ◆ 企業向け健康づくり

### (1) 豊田市健康アドバイザー派遣事業

若者や働く世代の健康づくりを推進するため、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士、公認心理師及び糖尿病看護認定看護師等の資格を持った者が、事業所を訪問し、健康課題の確認や助言、講話等を実施した。

・実施件数：13 事業所、19 回

### (2) 健康経営セミナー

企業等が当市の支援内容や他社の取組を学び、人とつながることで、企業等の従業員に対する健康づくりに関する取組を推進し、企業等から地域への波及効果を図るために研修会を開催した。

開催日	令和 7 年 1 月 28 日（火）
来場者数	19 事業所、24 人
内容	(1) 健康経営の基本的な知識に関する講座 (2) 「健康経営実践セミナー」ワークショップ (3) 市内事業所の健康づくりの取組紹介 (4) 健康保険組合からのご案内ほか

## ◆ ヘルスサポートリーダー

地域の健康づくりを応援するボランティアで、「地域に広げよう 健康づくりの輪」をスローガンに生活習慣病予防のための講座、健診受診の啓発、高齢者の健康づくり支援などの活動を行っている。会員数232人（令和6年度末時点）

### (1) ヘルスサポートリーダー養成講座

地域の健康づくりに関わるボランティアを養成するため、栄養・運動・生活習慣病予防等に関する知識や技術を習得するための講座を開催した。

年度	修了者数	1コースあたりの回数	コース数
3	23	3	3
4	27	2	2
5	24	2	2
6	26	2	2

### (2) ヘルスサポートリーダースキルアップ事業

ヘルスサポートリーダーが、地域の健康づくりを推進するために必要な知識や技術を習得できるよう研修会等を行った。

#### ア. スキルアップ研修

日程	研修内容	講師	参加人数
6月28日	健康づくり豊田 21 計画（第四次）、栄養・食生活の改善、歯・口の健康づくりについて	保健師、管理栄養士、歯科衛生士	89
7月31日	こころの健康づくりについて、健診受診の向上にむけて	保健師	91
延べ参加人数			180

#### イ. 出前育成研修

健康づくり講座で講師をするための事前研修を実施した。

日程	内容	参加人数
5月15日	調理実習を行うための研修	10
12月11日	元気アップ教室支援のための研修	40

### (3) ヘルスサポートリーダーが行う健康講座

「健康づくり豊田21（第四次）」計画を推進するため、「とよた健康プラス10」を推進する健康づくり講座を企画、その他地域が主催する講座、自主活動グループ等に出向いてミニ講話等を実施した。

地区	実施回数	参加実人數	内訳（延）																
			プラス10		栄養		野菜350g		運動		健診PR		フレイル		心の健康づくり		健康チェック		
			回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者数	回数	参加者	
崇化館	4	349	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	566	
朝日丘	17	446	1	13	—	—	1	38	2	24	—	—	1	8	—	—	13	792	
逢妻	5	346	2	134	1	100	—	—	2	93	2	160	1	69	—	—	2	283	
梅坪台	6	317	—	—	—	—	—	—	1	41	—	—	1	41	—	—	5	702	
浄水	11	629	2	137	6	179	—	—	7	392	1	116	2	133	—	—	3	462	
高橋	9	651	1	86	1	40	—	—	1	86	1	86	—	—	—	—	1	547	
美里	16	496	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	496	
益富	3	297	—	—	—	—	—	—	2	180	—	—	—	—	—	—	—	1	468
上郷	4	166	—	—	—	—	4	166	—	—	—	—	—	—	—	—	3	274	
豊南	5	290	—	—	3	110	1	150	2	100	—	—	—	—	—	—	—	1	90
末野原	11	371	—	—	—	—	—	1	24	1	34	—	—	—	—	—	—	10	830
若林	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
竜神	3	230	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	530
若園	4	279	—	—	—	—	—	—	2	31	—	—	—	—	—	—	—	1	193
前林	4	319	1	153	2	271	2	271	1	48	2	271	2	271	—	—	2	733	
猿投台	20	405	—	—	1	6	—	—	19	285	—	—	2	15	—	—	1	480	
井郷	10	301	2	119	2	67	3	163	7	113	—	—	1	69	—	—	5	410	
保見	5	418	2	133	1	42	1	42	2	92	1	42	1	42	—	—	4	842	
猿投	6	460	2	182	3	100	—	—	4	222	3	152	2	249	—	—	3	636	
石野	3	213	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	289	
松平	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
下山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
藤岡	2	139	—	—	—	—	—	—	—	—	1	67	—	—	—	—	1	147	
藤岡南	7	332	4	81	4	81	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	131	
小原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
足助	2	220	2	197	—	—	—	—	1	68	—	—	—	—	—	—	—	1	182
稻武	4	276	1	76	—	—	—	—	2	103	—	—	—	—	—	—	—	3	436
旭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総計	161	7,950	20	1,311	24	996	13	854	56	1,912	11	894	13	897	—	—	90	10,519	

## 自主活動グループでのミニ講話等

派遣	自主活動グループ支援			
	内訳			
	フレイル	健診受診	プラス10	野菜350
グループ数	88			
派遣回数	245	111	24	23
参加者数	2,768	1,266	266	274
				197

## ◆ 自殺対策計画推進事業

令和6年3月に策定した健康づくり豊田21計画（第四次）に基づき、「自殺死亡率の低下」を目標に、市民等への普及啓発活動や人材の育成に努めた。

### (1) 市民、事業所への啓発

#### ア. 自殺予防啓発

集中的な啓発事業等を通じて、市民に自殺やうつ病についての正しい知識の普及啓発を行うとともに、これらに対する偏見をなくし、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいた場合の対応方法についての理解を図った。

#### 自殺予防週間／令和6年9月10日～16日

日程	方法	実績
8月20日～9月16日	市内及び府内のデジタルサイネージへの掲示等	啓発日数：28日間 放映箇所：5か所
8月23日	「とよたみよしホームニュース」ヘゲートキーパーに関する記事を掲載	発行数：168,500部
9月10日～13日	府内放送を利用した来庁した市民に向け啓発	啓発日数：4日間
9月1日～19日	府内に啓発ブースを設置し、リーフレット等を配架	啓発日数：19日間 配布数：519セット

#### 自殺対策強化月間／令和7年3月

日程	方法	実績
3月1日～31日	市内及び府内のデジタルサイネージへの掲示等	啓発日数：31日間 放映箇所：50か所
3月1日～31日	府内に啓発ブースを設置し、リーフレット等を配架	啓発日数：31日間 配布数：582セット
3月1日～31日	豊田市中央図書館に啓発ブースを設置し、リーフレット等を配架	啓発日数：31日間 配布数：1,000セット
3月1日～16日	府内ポップアップ等を利用した職員向け啓発	啓発日数：16日間
3月15日～31日	ケーブルテレビでの啓発動画放映	啓発日数：17日間 放映回数：170回
3月17日～21日	ケーブルテレビでの「自殺対策強化月間特集」放映	啓発日数：5日間 放映回数：24回
3月24日	FMとよた「ホットニュースとよたイブニング」電話インタビュー出演	放送回数：1回

## イ. 自殺未遂者支援

「豊田市こころの健康相談窓口カード」を作成し、医療機関、警察署、消防署、社会福祉協議会等を通じて、自殺未遂者等へ配布した。

### (2) ゲートキーパー養成研修

市民や市職員等、一人ひとりがこころの健康の重要性を認識することや、自身や周囲の人のこころの不調を始めとする様々な悩みに気づき適切に対処できるよう、家庭、地域、職場等において「自殺対策を支える人」を育成するために研修を実施した。

日程	対象	実績
7月31日	ヘルスサポートリーダー	91人
7月～2月	民生委員・児童委員	130人
9月11日～27日	市職員（消防職）	523人
1月24日	支援者	38人
1月29日～2月28日	薬剤師	69人
2月19日	市民	97人

## ◆ 受動喫煙防止対策事業

### (1) 世界禁煙デー及び禁煙週間啓発事業

世界保健機関（WHO）が定めた「世界禁煙デー」及び厚生労働省が定めた「禁煙週間」に、禁煙及び受動喫煙防止の普及啓発を行った。

期間	内容
5月30日	市公式SNS情報発信
5月31日	名鉄豊田市駅及び愛知環状鉄道三河豊田駅周辺におけるトヨタ自動車(株)、とよた下町おかみさん会、愛知環状鉄道(株)との共働による啓発活動 【活動内容】 <ul style="list-style-type: none"><li>・クリーンアップ活動</li><li>・啓発物等（歯ブラシ、マウスウォッシュ、チラシ）の配布</li><li>・のぼりの設置</li></ul>
5月31日～6月6日	ポスター掲示及び啓発物等（歯ブラシ、マウスウォッシュ、チラシ）の設置
5月31日 6月3日～6月6日	豊田市役所庁内放送
5月31日～6月6日	豊田スタジアムチューブライト ライトアップ(イエローグリーン)

### (2) 禁煙治療費助成事業

禁煙を希望する市民に対して、禁煙外来治療費の一部を助成した。

年度	5	6
事前届出件数	29	22
交付件数	6	10

#### ◆ 原子爆弾被爆者援護事務

市内の原子爆弾被爆者の便宜を図るため、愛知県知事への申請の経由事務等を行った。

項目	件数
被爆者健康手帳交付申請、再交付申請	一
被爆者死亡届、葬祭料支給申請書	9
被爆者一般疾病医療機関指定申請、変更、辞退	16
被爆者医療特別手当健康状況届	一
各種手当認定申請	一
被爆者一般疾病医療費支給申請	一
被爆者一般疾病医療費一部負担金相当額支給申請	3
被爆者居住地変更届	1
被爆者介護手当支給	一
訪問介護利用被爆者助成受給資格認定申請	一
振込先口座変更届	一
交通手当金支給申請	一

#### ◆ がん患者補整具購入費補助事業

がん治療に伴う脱毛等の症状によりウィッグや乳房補整具等の補整具を必要とする方を対象に、補整具購入費の一部を助成した。

年度	4	5	6
交付件数	120	163	180

#### ◆ 若年がん患者在宅療養費助成事業

若年がん患者が、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送ることができるよう、在宅における療養に係る費用の一部を助成した。

年度	5	6
初回交付決定件数	3	2